

平成 30 年度における新改革プランの実施状況について

平成 30 年度における新改革プランの実施状況について、お知らせします。

1 財務内容の改善に係る数値目標

単位：％

区 分	目 標	実 績	類似規模 全国平均	摘 要
a 経常収支比率	95.3	97.6	99.3	医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標です。100%以上の割合は、単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字となります。
b 医業収支比率	87.1	88.4	99.2	病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標です。この指標は、大きいほど良いとされています。
c 職員給与費対 医業収支比率	64.2	49.7	52.8	医業活動から生じる医業収益に対する職員給与費の割合を示す指標です。この指標は、小さいほど良いとされています。
d 病床利用率				年延入院患者数÷年延病床数×100で算出します。病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断するための指数です。この指標は、100に近いほど良いとされています。
一般病床	80.0	73.6	74.7	
療養病床	88.6	76.9	76.5	

※実績欄の数値は、決算統計のデータに基づき算出したものです。

2 公立病院として提供すべき医療機能の確保に係る数値目標

単位：人

区 分	目 標	実 績	摘 要
a 入院・外来患者数			当院は町内唯一の入院施設を備えた病院であるため、一次救急や検診事業などの予防医療を行いながら、2次医療機関で急性期医療の終わった患者の受け入れを積極的に行い、入院・外来患者の増加に努めています。
入院患者数	27,500	24,595	
外来患者数	44,000	37,765	
b 救急車による受入れ患者数	200	218	年間の数値目標値を、200人と設定しています。

3 サービス向上に係る目標

単位：件

区 分	目 標	実 績	摘 要
a 医療福祉・介護・ 退院支援等相談件 数	1,750	1,669	住民の医療に対する要望は、多様化しています。需要が増えることが予想されることから、計画の最終年度である平成 32 年度の相談件数を 1,850 件と設定しています。

4 決算状況（収益的収支：税抜き）

(1) 収 益

単位：円

区 分	項 目	金 額
1 医業収益	1 入院収益	478,426,505
	2 外来収益	273,593,830
	3 その他医業収益	111,753,528
2 医業外収益	1 受取利息及び配当金	2,661
	2 負担金及び交付金	231,490,000
	3 長期前受金戻入	10,992,546
	4 引当金戻入	2,362,519
	5 その他医業外収益	1,566,764
合 計		1,110,188,353

(2) 費 用

単位：円

区 分	項 目	金 額
1 医業費用	1 給与費	624,267,668
	2 材料費	96,530,728
	3 経費	291,526,593
	4 減価償却費	62,844,671
	5 資産減耗費	3,094,059
	6 研究研修費	1,300,652
2 医業外費用	1 支払利息及び企業債取 扱い諸費	26,829,887
	2 長期前払消費税償却額	0
	3 消費税	31,478,808
3 特別損失	1 過年度損益修正損	1,879,200
合 計		1,139,752,266

(3) 当年度純損失 29,563,913円（収益 1,110,188,353円－費用 1,139,752,266円）